
ニセコひらふ地区の地域住民と来訪者の利便向上のための
活動計画

2023 年 11 月

一般社団法人ニセコひらふエリアマネジメント

1. 活動を実施する区域

倶知安町ニセコひらふ1条から5条まで、字山田及び字樺山地区（図赤枠のとおり）



2. 活動の目標

ニセコひらふ地区にはたくさんの住民と就労者がおられるだけでなく、年間160万人もの来訪者（観光客）がおられます。それらのうち外国人の方々の割合が、他の地域と比べて高いこともこの地域の大きな特徴です。

こうしたことから、この地域が目指す姿として「住んで良し、訪れて良し」という言葉が用いられますが、私たちニセコひらふエリアマネジメント（NHAM）の目指す方向も一緒です。この地域を地域住民（住む人・働く人）と来訪者双方に心地のよい場所とすべく、地域の課題解決とイメージアップを図り、それを通じて来訪者の増加・利便の向上を目指します。

平成29年秋の法人設立以来約6年間、ボランティアによる一斉ごみ拾い・除草やひらふ坂を花で飾る運動、イルミネーション、事業用ゴミ収集の説明会など、着実に地域住民と来訪者のための活動を行ってきたと自負しています。また新型コロナ期中止を経て復活した「ひらふ祭り」は、地域住民と来

訪者をつなぐ地域最大のイベントとしてすっかり地元に着し、その経済効果も大きなものになったと考えられるようになりました。その一方で、地域に不在の土地・建物所有者が増えたことによる町内会活動継続の課題など、依然として様々な課題があることも事実です。

昨今ではいろいろな地域でエリアマネジメント組織が設立されていますが、その多くは地域の賑わいづくりが主眼となっているように思われます。NHAM は単にイベント開催によって地域の賑わい・活性化を目指すだけでなく、地域にある課題の掘り起こしと解決に努めながら、「住んで良し、訪れて良し」を目指していきたいと考えています。

最後に、NHAM の活動はボランティアの方々に協力なしには行えません。NHAM の活動に共鳴・協力していただける方を増やすべく、その活動を発信し、説明し、理解していただくことも重要であると考えています。これらを踏まえ、NHAM の活動目標を表 1 のとおりといたします。

表 1 活動目標 (KPI)

活動目標 (KPI)	事業開始前	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年
一斉ごみ拾い 参加者数の増加	令和 5 年：180 人	190 人	190 人	200 人	200 人	220 人
SNS 等による情報 発信件数の増加	令和 4 年：66 件 (上期 38 件、下期 28 件) 令和 5 年上期:40 件	80 件	85 件	90 件	95 件	100 件
NHAM の認知度 アップ	ひらふ祭りなどの機会を捉えて当法人の認知度を調査し、その認知度アップを目指します (令和 6 年度から調査し目標設定)。					
ひらふ祭りでの 地元貢献度アップ	ひらふ祭りの経済的効果を確認し、その増大を図ります。これにより地元への貢献度合を高めたいと考えます (令和 6 年度から調査し目標設定)。					

3. 活動の内容

(1) 地域環境に関する事業

- a. 住環境の整備、来訪者受入れ環境の整備に向け、例年下記の環境共生・美化活動を行っています。今後も継続するとともに、エリア拡大を目指します。

- 清掃活動 ⇒ 地域住民による一斉清掃を行っています
- 緑化活動 ⇒ 「お花いっぱい活動」でエリアを花で飾っています
- 雑草駆除活動 ⇒ 道路通行の支障をなくし、美観上も改善されます



ひらふ坂



道道 343 号線（現在対象外）

エリア拡大に伴い、従来のボランティアに頼るだけでは限界があるため、作業員の雇用なども検討します。夏季の雇用機会をつくることにより、当地に滞在される方に新たな労働機会の提供を行います。

- b. 公園や道路などの公共空間を演出することにより、より楽しく潤いのある生活空間と旅空間の創出に努めます。

●ひらふ高原中央公園等の公園利用（グリーンシーズン）

⇒地域住民、観光客に憩いの空間を提供しています

●ひらふ坂イルミネーション（冬季）、ハロウィンかぼちゃ（秋季）など

⇒華やかさを演出し、フォトジェニックな空間を提供しています



ひらふ高原中央公園



ひらふ坂イルミネーション

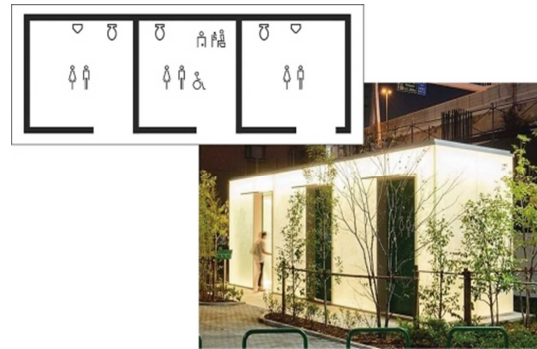
c. 新たに次のような取組を行い、1年を通じた観光客の誘致＝オールシーズン・リゾート化に貢献します。

●一層の美化、来訪者の利便性向上のためのゴミ箱やトイレの設置

⇒場所・資金の確保など容易なことではありませんが、屋台村に人が集まる冬季など、特に大きな問題となっています



(参考) 東京・表参道の SmaGO



(参考)

●「歩いて楽しいひらふ坂」の演出 ⇒ベンチやストリートアートの設置



(参考) 東京・丸の内



(参考) 東京・新宿区

●「ニセコひらふ」らしい案内表示板の統一と拡充

⇒ひらふ坂から脇道に行ってみたくなる仕掛け、見て楽しく、外国人にも分かり易い表示板設置



道道 343 号線沿い



(参考)

●観光協会と連携した来訪者の利便性向上につながる事項の検討

⇒シェアサイクル、電動キックボード、エリア Wi-Fi の設置など

(2) 地域コミュニティづくりに関する事業

- a. 住民と観光客の交流のため「ひらふ祭り」を開催するほか、地区内イベントの運営支援を行います。



ひらふ祭り（令和5年度）

- b. 地域住民が交流し、賑わいのあるコミュニティづくりを促進するため、自治会活動の支援やごみ収集の啓もう活動などを行います。
- c. 自治会活動支援の一環として、今後懸念される災害等による緊急時に、地域住民（外国人を含みます）が安全に待機・退避するための情報の提供・回付に関わる仕組み作り等も、自治会や行政と連携して検討していきます。
- d. このエリアでは、冬季において滞在者が急激に増加し、それに伴って様々な問題が生じます。例えば、車輛の違法駐車や酔客による騒音などが挙げられます。こういった課題に対し、地域のボランティアの方々や警察当局・行政などと連携・協力して対応を検討します。

(3) 街づくりに関する事業

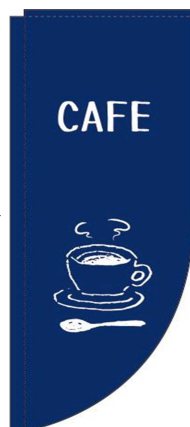
ニセコひらふ地区内外の街づくりのため、街づくりへの提言活動（各種委員会、会議体等への参加）、研究機関などからの要請（エリアマネジメント活動に関する事例調査等）への対応を行います。

(4) エリアマネジメント活動持続のための事業

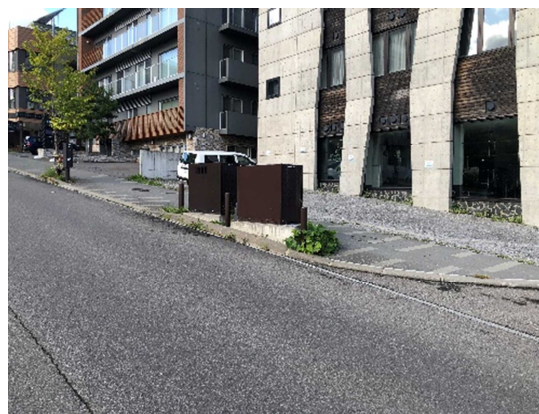
当活動を持続可能なものにするため、活動の情報発信・会員の拡大・人材の育成・自主財源の開拓などに取組めます。同時に、新たに解決すべき地域課題の洗い出しに努めます。



ひらふ坂バナー



➡ 宣伝用バナー（有償化）



変電施設側面の広告利用（有償化）

4. 計画期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）

5. 資金計画

（単位：千円）

年度	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
		 体制基盤整備期間		 事業拡大期間		
収入計	4,570	6,570	6,900	7,400	7,700	8,200
交付金	4,570	5,770	6,100	6,400	6,700	7,000
自己資金	(前年:500)	800	800	1,000	1,000	1,200
支出計	4,570	6,570	6,900	7,400	7,700	8,200
事業(1)環境美化	490	770	800	800	900	900
事業(2)公共空間演出	2,880	3,300	3,300	3,640	3,740	4,130
事業(2)(3)コミュニティ作り・街づくり	600	700	700	900	900	950
事業(4)活動持続	600	600	900	800	900	900
事業(4)事務局人件費	—	1,200	1,200	1,260	1,260	1,320
収支	0	0	0	0	0	0

以上